

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年3月31日

市川市長

団体名 ケアカフェいちかわ

（団体番号 2 ）

代表者名 [Redacted]

所在地 [Redacted]

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	242,626 円
(2) 補助対象経費総額	144,206 円
(3) 補助金交付決定額	98,425 円
(4) 補助金交付概算払額	98,425 円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	在宅医療介護啓蒙の為の市民まつり出展事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 実施時期 令和5年11月3日 実施場所 大洲防災公園(市民まつり) 参加人数 当団体スタッフ30名 市民テント内来場者約100名 市民まつり当日は、前日からの断続的な雨の影響で、会場全体がぬかるんでおり、当団体のテント内も泥だらけの状態でした。泥の掻き出し作業に時間を要し、来場者の多い午前中にはテント内の準備がほとんど整わない状況でした。午後、防災公園全体の傾斜の影響か、当団体のテント周辺には泥が残り、足元の悪さから来場者も少ない状況が続きました。そのため、予定していた事業内容は十分に実施することができず、誠に残念ながら、目標の達成には至りませんでした。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	当会で毎月開催しているイベント(ケアカフェ、オレンジカフェ)などで参加者にチラシを配布。また当会WebサイトやSNS(Facebook、Twitter、instagram、LINE公式アカウント)、いちかわ支えあいネットなどで情報を発信した。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 市民まつり出展後、別日に「振り返りの会」を実施した。この内容を踏まえ、さらにブラッシュアップさせ、来年度も同事業で出展したいと考えている。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 今回の補助決定事業の実施を通じて、天候不良時の対応に関する複数の課題が明らかとなりました。特に、前日からの雨天により会場全体がぬかるみ、当団体のテント内も泥で覆われる状況となり、準備に大幅な遅れが生じました。また、地形的な傾斜により当団体のテント周辺に泥が集中し、来場者の足元が悪化したことで、立ち寄る人が少なくなるという影響も確認されました。 これらの課題に対し、今後の改善策として以下の対応を講じる予定です。 ●雨天時の設営体制の見直し：前日からの天候に備え、テント内外の養生(敷板や防水シートなど)を事前に準備・設置できる体制を整える。 ●立地選定の工夫：傾斜による水の流れや泥の滞留を考慮し、テント設置場所の選定時に地形的条件を十分確認する。 ●当日の運営マニュアルの整備：天候不良時の対応を盛り込んだマニュアルを作成し、当日の役割分担を明確にする。 今後もより多くの来場者に安心して参加いただけるよう、環境整備や運営体制の改善に努めてまいります。次年度はいちさば補助金の趣旨にのっとり、申請せず、自己資金で出展予定です。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 集合写真

撮影年月日: 令和6年11月2日



タイトル : 悪天候により泥だらけのテント内

撮影年月日: 令和6年11月2日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：在宅医療介護啓蒙の為に市民まつり出展事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	35,200	くじ引き、型抜き、輪投げ販売
寄附金収入	-	
補助金収入	98,425	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	-	
会費充当	135,323	ケアカフェいしかわの本会計より充当
補助金返金	-26,322	
合 計	242,626	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	15,000	15,000	グリーディング出演報酬（激神ザンドー）
交通費	6,000	6,000	駐車場3台
消耗品費	68,746	68,746	装飾テープ、広報用ティッシュ、ハンドベル、駄菓子、吊るしくじ引き、販売用おもちゃ、テント出展用消耗品など
印刷製本費	7,960	7,000	
通信運搬費	-	-	
保険料	5,460	5,460	
使用料及び賃借料	42,000	42,000	
原材料費	-	-	
福利厚生費	12,000		スタッフ昼食費
その他経費	85,460		法被購入費、法被クリーニング代、買出し駐車場代
合 計	242,626	144,206	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 7 年 3 月 2 8 日

市川市長

団 体 名 : 市川市マンション管理組合協議会

(団体番号 8)

代表者名 :

所 在 地 :

令和 6 年 4 月 1 日付で交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記の通り補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	2 4 5 , 6 1 6 円
(2) 補助対象経費総額	2 2 1 , 7 0 5 円
(3) 補助金交付決定額	1 5 0 , 0 0 0 円
(4) 補助金交付概算払額	1 5 0 , 0 0 0 円



(5) 実施報告

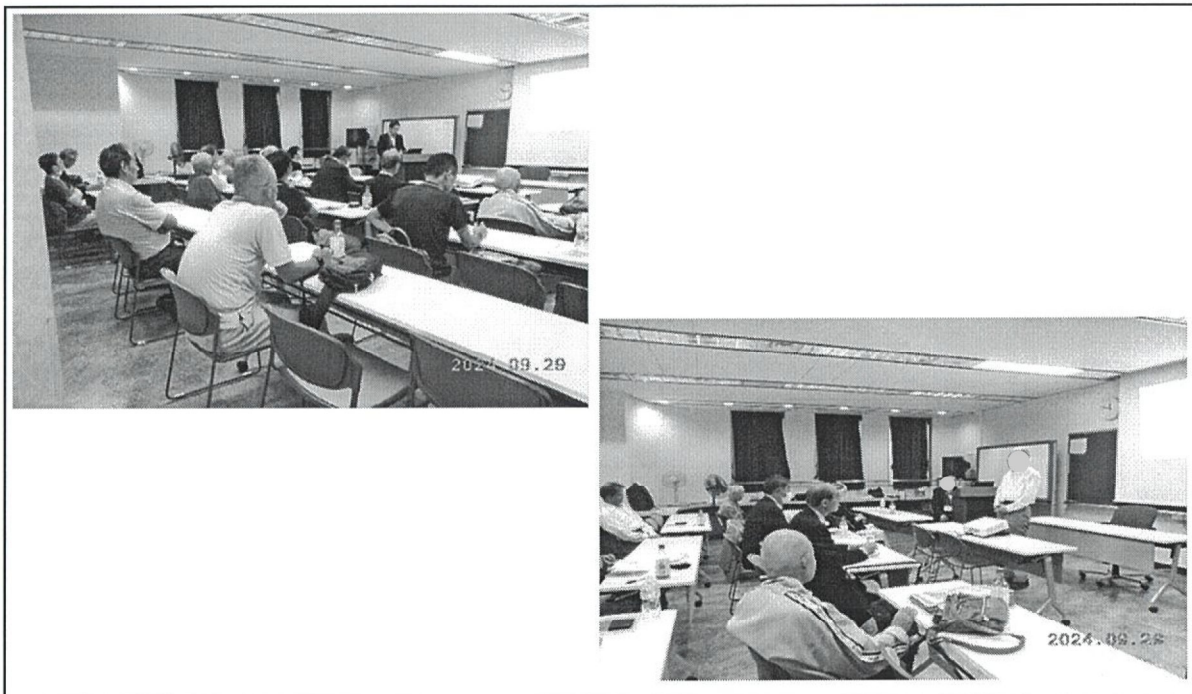
補助決定事業の名称	マンション管理セミナー・相談会・交流会の実施
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 今期は当初計画通り、以下の4回のセミナーを開催しました。 第一回：令和6年9月29日 於：男女共同参画センター「ウィズ」 第二回：令和6年12月1日 於：南行徳市民センター 第三回：令和6年2月22日 於：全日警ホール 第四回：令和6年3月16日 於：全日警ホール 今年度は市内15万人のマンション住民のコミュニティ帰属意識を高めるべく「マンション自治会化」をテーマに啓発・相談活動を実施しました。 また第二回セミナーのみ「自主管理の方法についての座談会」と題し、現在マンションの自主管理を実際に行っている理事長、自主管理を企図する管理組合理事などに御集り戴き、車座での座談会形式でざくばらんに成功例・失敗例について論じ合う機会を設けました。 セミナーの傍ら、マンション自治会創設を検討する理事会役員の個別相談も受け具体的なマンション自治会創設の方法、及び設立後の活動等について説明を実施しました。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	当協議会の活動についての告知や情報提供については、メールアドレスを把握している約30件についてはメールにて、併せて市内の約540棟の管理組合には郵送による連絡も行いました。 セミナー案内パンフレットは「配架依頼」手続により市関連施設への配架を願いましたが、「広報いちかわ」への掲載については、昨年同様に開催施設との調整の問題があり、今年度も実現しませんでした。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	「マンション自治会化」のセミナーでは、多くのマンションで「マンション住民の当事者意識の欠如」という根本的問題の解決の糸口になるのではないかと期待されていることを認識し、本事業について更なる普及を図ってゆくことと致しました。 また、「マンション自主管理」についても、検討中の管理組合が多いことが判明し、こちらについても希望する管理組合に対して具体的なノウハウや移行方法についての情報提供を続ける方針であります。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 当協議会のセミナーでは、団体が実施するセミナー演題と重複しない内容とする前提で選定されており、このため、セミナー出席者にとっても目新しい方策の紹介となります。 こうした内容について、高齢の理事長が多い当協議会セミナー出席者が自身のマンションに持ち帰って他の理事・住民に説明することに困難を覚えるとの意見や直接理事会メンバーや住民に説明願えないかとの要望がありました。 こうしたことより、新しい方策は2時間程度のセミナーだけでは十分に理解願えず折角紹介しても実地での普及に繋がらないということを認識しました。 これを受け、今後はセミナーで来場者に対して話すだけでなく、要請のあったマンションを訪問し、理事長以下複数の理事や住民に対して説明し質疑応答の機会を併せて設けることとしました。 これにより新しい方策についても普及の可能性が高まるものと期待されます。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

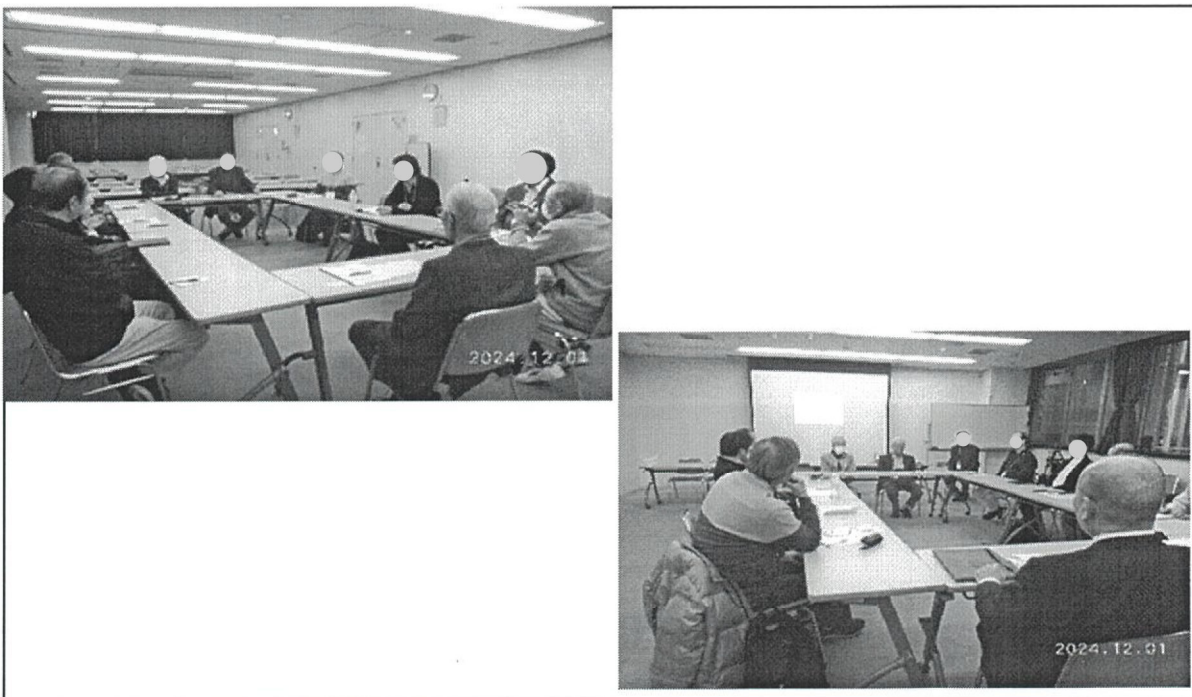
タイトル : 第一回セミナー 「マンション自治会化」について

撮影年月日: 令和6年9月29日



タイトル : 第二回セミナー 「自主管理に関する理事長座談会」

撮影年月日: 令和6年12月1日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: マンション管理セミナー・交流会・相談会

1【収入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	134,764	団体の本会計より充当
補助金返金	-39,148	
合 計	245,616	

2【支出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費			外部講師等の招聘なし
交通費	22,314	15,900	別紙「交通費一覧」「交通費一覧(補助対象分)」御参照
消耗品費	45,256	35,174	《セミナー関連》 コピー紙、ラベルシール、封筒、ハガキ代等(詳細別紙) 《その他》 その他消耗品9,416円(補助対象外)
印刷製本費	0	0	
通信運搬費	169,096	163,201	《セミナー関連》 郵送料第一回分33,522円、第二回分45,355円、第三回分31,350円、第四回分52,225円 《その他郵送料》 その他郵送料6,644円(補助対象外)
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	8,950	7,430	《セミナー開催分》 全日警ホール1280円/1280円 南行徳市民センター3030円 男女共同参画センター「ウィズ」1840円 《打ち合わせ・会議》 地域ふれあい館使用料1,520円(補助対象外)
原材料費	0	0	
その他経費	0		
合 計	245,616	221,705	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第12号（第11条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年 2 月 26日

市川市長

団 体 名 緑のみずがき隊

（団体番号 10 ）

代表者名

所 在 地

令和6年 4 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	190,029円
(2) 補助対象経費総額	170,000円
(3) 補助金交付決定額	85,000円
(4) 補助金交付概算払額	85,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 2024年4月7日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「野草を食べて見よう」 5月11日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「田植えと生きもの観察」 6月15日10:00～12:00 北方遊水池 「ツバメのふしぎ大発見」 7月20日9:30～11:00 北方ミニ自然園 「かかし作り」 9月7日9:00～11:00 北方ミニ自然園 「稲刈り」 9月21日9:00～12:00 北方ミニ自然園 「脱穀」 10月19日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「収穫祭・餅つきと民話語り」 11月24日10:00～12:00 北方遊水池 「冬の野鳥観察」 12月15日9:30～12:00 北方遊水池 「わらないリースとしめ縄作り」 2025年1月11日9:30～12:00 北方遊水池 「団子あげと民話の集い」 2月22日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「春の水辺の自然観察」 (北方ミニ自然園は市民プール前の民有地、北方遊水池は大柏川第一調節池緑地・同ビクターセンターのことで、共に北方町4丁目にあります。) ・参加人数は、合計698人(うち一般市民は507人)でした。 ・「夏の水辺の自然観察」「秋のトンボ調査」は雨天のため、中止しました。 ・12/5、1/11は屋内(ビクターセンター)で三密回避のため人数制限(予約制)して実施しました。 ・4/7と10/19は食品を扱うため、参加者全員のアルコール消毒を徹底しました。 ・企画を実施するため、ミニ自然園の整備や準備を毎月2回、毎回10人程の隊員で行いました。また、企画の内容の打ち合わせを毎月1回、公民館で行いました。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・マスコミ(大手新聞社等)、ミニコミ(地域紙等)、合計10社余りに案内の掲載や取材を依頼しました。 ・回毎に案内チラシとポスターを作成し、周辺の小学校や自治会に配布し、公民館や駅等にも置いてもらいました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・自然観察や稲作体験の機会を提供し、子どもも大人も身近な自然や地域の文化に関心を持っていただこうと企画・実施し、参加者から好評を得ました。残念雨天で2回中止しましたが11回実施でき、概ね予定通り実施できました。 ・小学校低学年の子どもとその保護者を中心に延べ698人(就学前の幼児を含む)の方が参加されました。参加者は、水田や池などで水辺の生きものに直接触れ合い、自然の中で遊んだり農作業したりして自然の面白さや大切さそれぞれに感じていただけたと思います。自然体験や非認知能力の大切さが広く知られるようになり、地域の自然や文化への市民の関心の高さを感じました。 ・水田や池などの水辺の自然の大切さやそれを守り育てる活動を広くアピールでき、また、地主さんをはじめ地元の方々と交流を深めました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・一般参加者数(隊員を除く)は、昨年度と同程度でコロナ期より倍増しました。 自然や文化との触れ合いを求める市民、特に子どもとその親のニーズがあり、みずがき隊の活動が認知されてきたと思います。より一層の企画の充実と情報発信や宣伝の工夫が、引き続き課題です。 ・例年に増して夏の暑さが厳しく長くなり、熱中症の対策が課題です。 ・環境や文化に対する意識を高め、地域の自然や文化を豊かにするため、緑のみずがき隊の活動をさらに広げたいと思います。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ツバメのふしぎ大発見

撮影年月日 : 2024年6月15日



タイトル : かかしを作ろう！

撮影年月日 : 2024年7月20日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：環境教育プログラム「みどりの寺子屋」「緑の楽交」

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	61,100	野草大人・子供37名×300円、収穫祭大人24名×400円、子供14名×200円、わからないリース大人32名×300円子供11名×100円、団子あげ大人・子供8名×200円、その他参加者253×100円 も
寄附金収入		
補助金収入	85,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	42,809	団体の本会計より充当
行事保険返金	1,120	28円×40名（夏の水辺の自然観察20名・秋のトンボ調査20名中止）
合 計	190,029	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	14,000	14,000	外部講師等の招へい ○あり／なし 市川民話の会5,000円、都市鳥研究会3,000円×2回、自然誌研究会3,000円×1回
交通費			
消耗品費	86,827	74,500	別途参照
印刷製本費	4,485	4,000	行事13回開催 ポスター・チラシ・配布資料の印刷代
通信運搬費	8,500	6,300	案内ハガキ 85円×100枚＝8,500円
保険料	15,400	11,200	ボランティア行事保険28円×550名＝15,400円
使用料及び賃借料	60,000	60,000	土地借用 30,000円×1軒、15,000円×2軒
原材料費			
備品費	817		排水クリーン購入
合 計	190,029	170,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

様式第 8 号（第 8 条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和 7 年 2 月 2 6 日

市川市長

団 体 名 緑のみずがき隊

（団体番号 1 0 ）

代表者名

所 在 地

令和 6 年 4 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称	2 変更の内容	3 変更の理由
-------------	---------	---------

環境教育プログラム 『緑の寺子屋』『緑の楽校』

夏の水辺の観察	中止	雨天のため
秋のトンボ調査	中止	雨天のため

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年 3月 31日

市川市長

団 体 名 アシカちゃんクラブ

（団体番号 14 ）

代表者名

所 在 地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	672,500円
(2) 補助対象経費総額	660,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

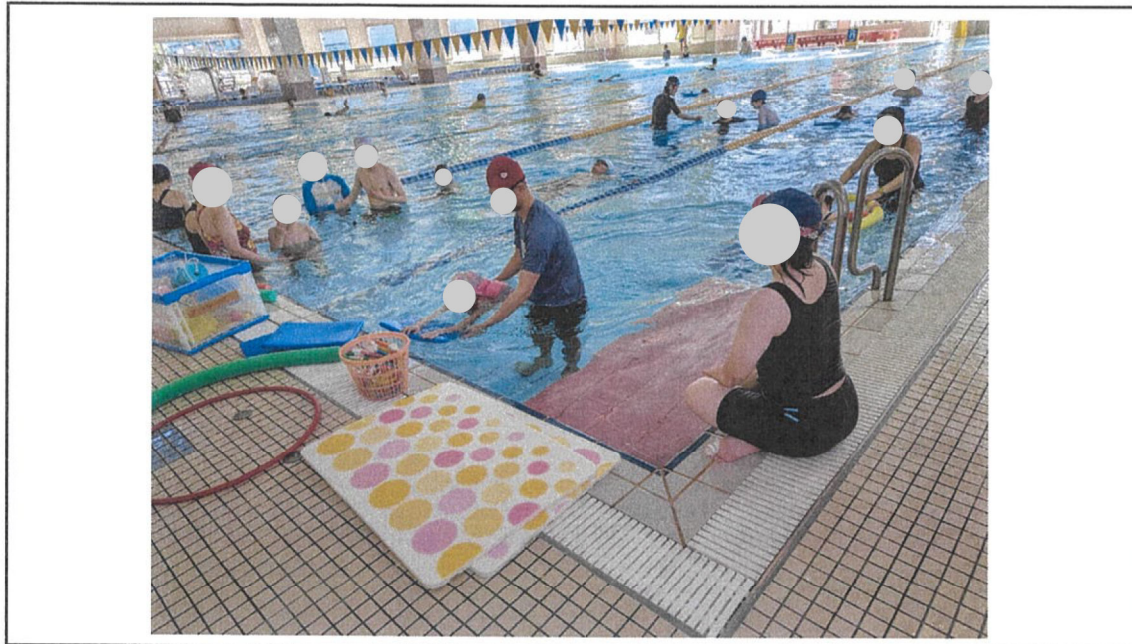
補助決定事業の名称	知的障害児・者のための水泳療育
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 (実施時期) 令和6年4月から令和7年3月 (実施場所) クリーンスパ市川(25メートルプールの2レーンを貸し切る) (内容) 水泳療育専門のコーチより、個々の会員の障害特性に合った身体の動かし方、泳ぎ方等の指導を受ける。月2回のプール活動では、主に2つのコースに分かれ、個別で泳ぐことができる者、保護者と共に泳ぐ者が、それぞれコーチの指導の下、水泳技術の習得に励んだ。指導により、水中での身体の使い方を具体的に学ぶことで、心身の機能が向上し、また、親子で元気に、楽しく水泳をすることができた。 受益者延べ人数468名(うち市民の数366人)
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	チラシを作成し、配布を実施した。 内訳は以下の通り。 ・会員による学校関係等知人への配布 200枚 ・クリーンスパ市川(セントラルスポーツ) 200枚 ・須和田の丘支援学校 30枚 ・まはろ(放課後等デイサービス)等 70枚
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 参加者は障害児・者の為、一般の水泳教室では受け入れが難しく、本人も楽しく参加することができない場合が多いが、当クラブでは専門家のコーチによって個々の障害の特性に合わせた手厚い指導を受ける事ができる。結果として、単に心身の機能の向上だけでなく、様々な泳法による水泳技能向上をかなえることができた。それは、障害児・者本人にとって大きな自信となり、子どもの余暇の充実、その家族にも大きな喜びをもたらし、生活を豊かにすることができた。 また、一般の水泳教室を利用する際、付き添う保護者が障害児・者と性別が異なる場合、子ども一人での着替えなどが困難なため通常施設の利用をあきらめなくてはならないことが多いが、クリーンスパ市川では、性別の異なる保護者と利用できる更衣室を施設に用意していただいているので、親子で気兼ねなく安心して利用できた。また、コーチや他の保護者に協力を依頼し、着替えスペースに同伴できない保護者のお子さんの着替えを見守ったり、手伝ったりするような仕組みを作った。 知的障害児・者の場合、スポーツを通じての家族同士の交流は一般の社会では難しいが、同じ立場の障害児・者とその家族と一緒に水泳に取り組むことで、会員同士の交流や情報交換が盛んになり、水泳を通じての仲間作りができた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 昨年度同様、参加者が障害児・者であるため本人単独での来所や参加が難しく、家族の負担となっている。また、本人が参加できる状態でも家族の体調や予定などにより参加できないこともあった。引き続きボランティア等の募集にも力を入れて、本人が自力で参加できるような環境を整えていくことが課題である。 レッスン中プール内で保護者は子どもを注視していなければならない、会員同士が交流をはかる時間が十分に取れない。今後は、スクール以外に懇親会やレクリエーションの場を設ける等会員同士で交流できる機会を増やして、より協力体制が深まるよう環境を作っていきたいと考えている。 会員は、水泳療育コーチへの支払いなどの運営費として月額3,000円、クリーンスパ市川の利用料が月額4,400円、月額合計7,400円の負担がある(運営経費全体から補助金を差し引いての各会員の負担額)。会員数がコロナ以降年々減ってきており、人数が減った分各会員の負担額が増加する傾向にある。今後は、就学児だけではなく、福祉事業所に通所する成年にも勧誘を拡げていき会員数の増加を図るとともに、もっと安価に利用できる施設を探すなど、参加しやすい環境を検討していきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

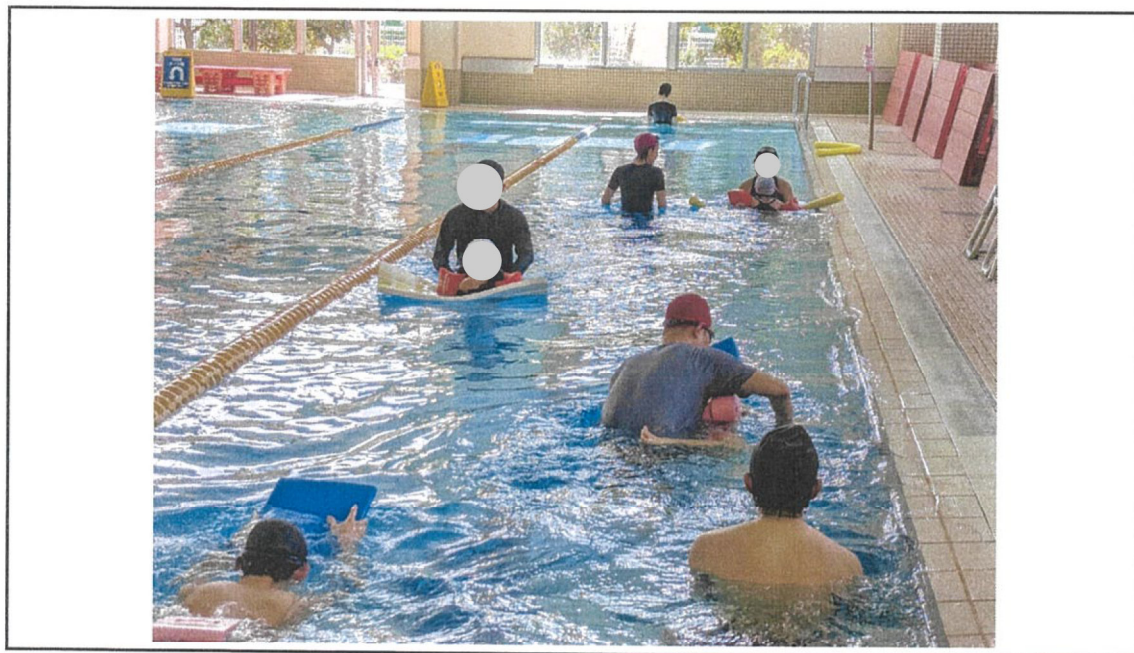
タイトル : レッスンの様子①

撮影年月日 : 令和7年2月8日



タイトル : レッスンの様子②

撮影年月日 : 令和7年2月8日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：知的障害児・者のための水泳療育

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	522,500	団体の本会計より充当
合 計	672,500	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	660,000	660,000	講師料(3名)27,500円/回×24回
交通費	0	0	
消耗品費	8,140	0	クラブ印鑑、帳簿等文具、コピー代等
印刷製本費	2,860	0	会員募集チラシ印刷代
通信運搬費	0	0	
備品	0	0	
懇親会費	0	0	
振込手数料	1,500	0	振込手数料
合 計	672,500	660,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

市川市長

令和2年3月31日

NPO法人ニッポンアライアンス
団体名 市川拠点「サルス市川」
(団体番号 17)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

- | | | |
|---------------|---------|---|
| (1) 補助決定事業費総額 | 358,427 | 円 |
| (2) 補助対象経費総額 | 348,000 | 円 |
| (3) 補助金交付決定額 | 150,000 | 円 |
| (4) 補助金交付概算払額 | 150,000 | 円 |



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	市民公開講座事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 別紙報告通り年毎計画にもとづき実施した。 主会場として予定していた男女共同参画センターがエレベーターの補修工事(7月から10月)のため一部実施日時を変更した。 また小教室は学生の希望で新大の教室を実施 多世代交流の効果もあった。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	広報は会報、チラシ、公報を行った。 また、講座踏集(別紙)も発行した。 公報は特に有効だった。できれば回数と増やしてもうえれば取りやすい。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 家にこもり勝ちなエニア。女性に外出の機会を定期的に提供し、元気な暮らしをうづける効果があった。 スマホ教室では多世代交流の効果もプラスされた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 特に人気があったコンサートは引き続き実施していきたい。 講座はテーマによって違うところあり。 今後テーマを検討していく必要がある。

令和6年度 市民公開講座事業 実施報告

参加者数 477名
(市民外) (73)

6月10日 講演 「わが国の社会福祉の現状と課題」 30(2)

7月19日 「サマーコンサート～ヴァイolin・ピアノの調べ～」
アンサンブル「アラハスグ」 85(15)

10月10日 「大学生のサポートによるスマホ教室」 21(9)

10月21日 講演 「安全への備え～これまでの災害・事故からの教訓～」
13(2)

11月11日 講演 「健康・長寿に役立つ大衆を排泄の話」

12月9日 講演 「健康を足すより、フットケア」 16(2)

12月20日 「クリスマスコンサート～ヴァイolin・ピアノの調べ～」
アンサンブル「ジュース」 116(13)1月17日 「ニューイヤークンサート キョウバンライブ」 107(9)
キョウバン

2月8日 「大学生のサポートによるスマホ教室」 28(16)

2月10日 講座 「認知症を知る」 25(1)
市川市認知症支援局

3月10日 講座 「シニアのための防犯講座」 23(3)

千葉県警察本部 市川警察署 生活安全課

参加者計 477名
173名

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 市民公開講座事業「サマーコンサート」
撮影年月日: 令和6年 7月19日



タイトル : 市民公開講座事業「ニューイヤ〜コンサート キラバニライブ」
撮影年月日: 令和7年 1月17日



様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

6年8月21日

市川市長

NPO法人ニッポン・アクト・プロジェクト
団体名 市川 拠点「ナルク市川」
(団体番号 17)

代表者名

所在地

令和6年 4月 / 日付けで交付決定のあった市川市市民活動
団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をし
たいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

市民公開講座事業

2 変更の内容

別紙の通り

3 変更の理由

講座の会場に予定していた男女共同参画センターの
エレベーター点検工事と酷暑のため講座の前後
日程と内容の一部を変更。
(コンサートは当初予定通り)



市民公開講座事業(講座)実施計画

会場はすべて男女共同参画センター

(申請時番号)

1. 「わが国 社会福祉の現状と課題～NPO法人の新たなサマの挑戦～」

6月10日(月) 10:00～11:30

(終了)

7. 「「安全」への備え～過去の災害からの教訓～」

10月21日(月) 10:00～11:30

2. 「人々100年時代」 さらにも大規模な排外のはなし」 日程変更

11月11日(月) 10:00～11:30

(日程変更)

3. 「認知症への新たな挑戦～共生を理想から現実へ～」

12月9日(月) 10:00～11:30

(交渉中)
日程変更

7. 「元気を足ぐり、フィットケア」

2月10日(月) 10:00～11:30

その他(交渉中)

5. 「防犯について」
千葉県警察 市川警察 広報課

3月12日(月) 10:00～11:00

(交渉中)

- 4+6. 大学生のサポートによる スマホ講座

10月に実施予定で話し合っている

(参考)

「サマーコンサート」(アンサンブル「アラバスタ」)

7月19日(金) 14:00～15:30

(終了)

「クリスマスコンサート」(アンサンブル「ミューズ」)

12月20日(金) 14:00～15:30

「新春ライブコンサート」(フェアバー)

1月17日(月) 14:00～16:00

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年2月28日

市川市長

団体名 MOA食育ネットワーク千葉ハピネスクラブ
(団体番号 18)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	309,627	円
(2) 補助対象経費総額	123,591	円
(3) 補助金交付決定額	92,350	円
(4) 補助金交付概算払額	92,350	円



(5) 実施報告

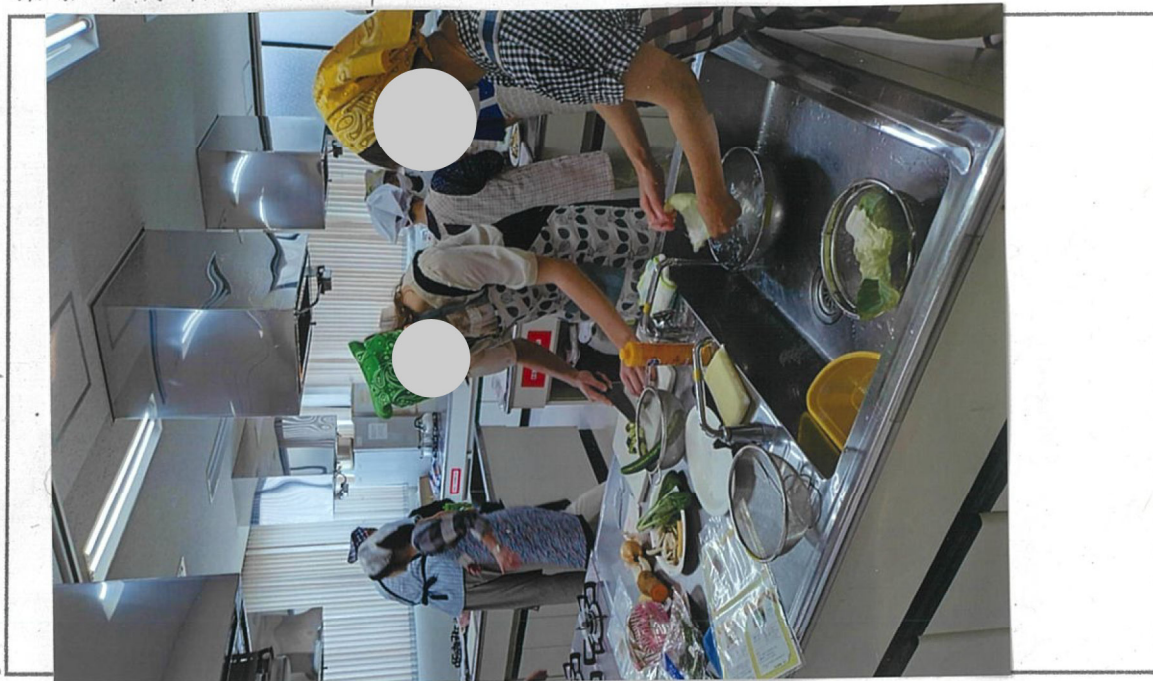
補助決定事業の名称	健康を守る自然食中心の食育推進事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 4月、アート&イートセラピー 京成バウ園 悪天候の為中止。 6月 食育セミナー 参加者 17名 市川公民館 出汁取りを中心とした日本食の調理実習とセミナー 7月 食養生セミナー 参加者 10名 東洋医院 健康チェックとセミナー、フラワーセミナーと体験 9月 癒しのひととき " 21名 ドクターによる健康に関する講演とバイオリン演奏、南行徳市民センター 10月 食育セミナー " 15名 行徳公民館 旬の魚を中心とした調理実習とセミナー 11月 市民まつり " 73名 大洲防災公園 肩こりチェックと国民健康法体験、一稀花体験 11月 あなごの健康チェック " 13名 全日警ホール 免疫力を高める健康法の講演と体験 12月 赤ちゃん食育セミナー 市川公民館 定、諸事情により準備段階で中止決定 2月 ちゅわわ味噌料理教室 行徳公民館 12名 宝田ふれあい館 12名 味噌作りと糀につくるセミナー
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	市川市のボランティアセンターのWEBに開催案内を掲載 市川市内にお住まいの友人、知人にパンフレットを配布し、口コミ メール等で広くお知らせして参加者を募集しました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 コロナ感染が収束し、4年振りに自然農法産食材による調理実習を供なう食育セミナーを開催することができました。久しぶりの食育セミナーを心待ちにされていた方々、又、日本食出汁取りにたいへん関心のある在日外国人(ワンス)の方達も参加されました。留学生の学生さんは、母国に帰る日本文化等と共に日本食の出汁取りを伝えたいと喜んでいました。日本の食文化が世界に拡大していく手ごたえを感じました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 市川市内の公民館(調理室等)の予約が、コロナ禍以前は3ヶ月前から可能でしたが、2〜3年前から偶数月は、1ヶ月前でないと予約できないシステムとなり食育セミナー等の告知に大変苦勞しています。講師の依頼、参加者の募集にも困ります。なんとか、以前のように3ヶ月前に予約を取れるようお願いしたいのですが、どのようにすれば良いのでしょうか。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 自然農法産食材使用の食育セミナー

撮影年月日: 2025年6月22日



タイトル : 手作り味噌づくり 食育セミナー

撮影年月日: 2025年2月16日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 健康を守る自然食中心の食育推進事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	177,420	参加費 (参加者 110名)
寄附金収入	0	
補助金収入	92,350	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	13,000	社会福祉協議会
会費充当	57,412	団体の本会計より充当
補助金返金	▲ 30,555	
合 計	309,627	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	76,000	76,000	外部講師等の招へい (あり) なし 外部講師8名
交通費	0		
消耗品費	16,391	16,391	生花、包装紙、ビニール袋、封筒
印刷製本費	960	0	コピー代
通信運搬費	744	0	
保険料			
使用料及び賃借料	39,290	31,200	
原材料費			
その他経費	176,242	0	振込手数料 (450) 味噌キット代 (96,980)、食セミ食材費 (41,562)、スタッフ 昼食他 (37,250)
合 計	309,627	123,591	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和7年2月28日

市川市長

団体名 MOA食育ネットワーク千葉ハピネスクラブ

(団体番号 18)

代表者名

所在地

令和6年 4月 / 日付けで交付決定のあった市川市市民活動
団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をし
たいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称 健康を守る自然食中心の食育推進事業

2 変更の内容 ① 4月のアート&イートセラピーは当日中止決定
② 12月のお節食育セミナーは準備段階で中止決定
3 変更の理由 ③ 5月の傾聴の癒しと9月の健康に関する講演は、
9月に「傾聴の癒し」として同時に開催しました。

① は悪天候の為、急きょ、当日中止となりました。

② は、諸々の感染症の為、実施できませんでした。

③ は講師の都合により、9月に一つのセミナーとして開催しました。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年12月11日

市川市長

団体名 古事記に親しむ会

（団体番号 19 ）

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	283,221
(2) 補助対象経費総額	173,063
(3) 補助金交付決定額	110,000
(4) 補助金交付概算払額	110,000



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	第2回 古事記を落語で<エピソード2>
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画通りに実施できた。当会員・[REDACTED]による「天孫降臨」及び、千葉大学・落研・二代目風呂屋苦沙弥の「和歌三神」、三遊亭圓福の「代り目、桂竹千代の「日本誕生と天孫降臨」による「落語」での講演会を開催した。参加者は191名(含児童2人)で盛況であった。今回、参加者191人のうち、申込時、氏名、住所、電話番号、メールアドレス等を提示頂いたのは、121人です。その内78件(64%)が、市川市在住の方です。従って、統計的には、191人X64%=122人が市川在住と推定されます。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	(1) チラシの配布: 5,500枚を配布した(主たる配布先は、市川市の施設・80ヶ所及び千葉市の施設・47ヶ所)。(2) 後援は、3カ所(千葉大学、千葉県、市川市)から取得した。(3) マスメディアによる告知3カ所(市川市広報、朝日新聞、雑誌・致知)を通じて行った。(4) ホームページを修正し、申込QRコードを設定し参加申込を容易にした。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 今回のイベントは、評判がよく、来年も同じ企画(古事記を落語で・その三)を実施したい。又、月例会に参加して古事記を学びたいとの入会申込が一人あった。参加者が191人おり、古事記・神話を身近に感じてもらえたと思う。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 一般人が、古事記・神話に興味を持つように企画したが、ある程度効果があったと思う。更に、理解度を確かめるために、テスト形式のアンケートを取れば理解度を把握できるかも知れない。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第2回古事記を落語で<エピソード2>

撮影 : 2024年12月7日



タイトル : 第2回古事記を落語で<エピソード2>

撮影 : 2024年12月7日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：第2回 古事記を落語で<エピソード2>

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	189,000	チケット販売収入（1,000円×189枚）
寄附金収入		
補助金収入	110,000	市川市市民活動団体事業補助金（概算払い）
その他 （助成金等）		
会費充当	7,690	古事記に親しむ会
補助金返金	-23,469	概算払受領110,000円-実際の補助金収入86,531円
合 計	283,221	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	160,000	120,000	出演料・3名（70,000円・2名+10,000円・1名）、司会1名・10,000円）
消耗品費	21,082	20,000	封筒、用紙、プリンターインク等
印刷製本費	12,018	12,018	チラシ印刷、コピー代等
通信運搬費	24,595	21,045	チラシ配布用切手等郵便代
使用料及び賃借料	13,660	0	全日警ホール（市川市の後援により使用料半額
HP修正制作費	6,870	0	
反省・懇親会費	44,996	0	参加者・15名
合 計	283,221	173,063	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年3月24日

市川市長

団体名 NPO法人市川子どもの外遊びの会

(団体番号 20)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	550,120円
(2) 補助対象経費総額	455,110円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。
	実施時期 令和6年 4/13、4/21、4/27、5/11、5/19、5/25、6/8、6/16、6/22、7/13、7/27、9/15、9/28、10/12、10/20、10/26、11/9、11/17、11/23、12/14、12/15、12/28 令和7年 1/11、1/19、1/25、2/8、2/16、2/22、3/8、3/22 計30回 実施場所 里見公園、西ノ下公園、宮久保6丁目市民広場 内容 子どもたちが自由に遊べる外遊びの場（プレーパーク）の開催 参加者数 のべ1360人 (乳幼児444人、小学生358人、中高生22人、大人536人)
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・活動場所でのチラシ配布 ・地元自治会掲示板でのポスター掲示 ・ホームページ、SNSに情報掲載、メールマガジンの発行 ・会報の発行（年3回） ・市川駅南口図書館にて活動中の写真の展示
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。
	外部よりプレイワーカーを招くことができ、安全かつ自由な外遊びの環境をある程度整えることができた。 活動場所が変わったが、以前の場所から継続して遊びに来る小学生もいて、子どもたちの居場所として機能できた。 乳幼児親子の参加も少しずつ増え、保護者が楽しみながら、小さな子どもたちを安心して外遊びさせられる環境作りに貢献できた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。
	より安全で自由な遊び環境を整えるためには、プレイワーカーが2人いることが望ましいが、現状では人材確保や費用負担の面で実現が難しい。 これを補うため、活動をサポートしてくれるボランティアを募った。その結果、のべ63人のボランティアの協力を得ることができた。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : たき火に集まる子どもたち

撮影年月日: 令和6年4月13日



タイトル : みんなでプールづくり

撮影年月日: 令和7年7月13日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	23,172	ダイエー「黄色いレシートキャンペーン」
会費充当	376,948	団体の本会計より充当
補助金返金	0	
合 計	550,120	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	450,000	360,000	外部講師等の招へい あり プレイワーカー謝礼15000円×30回
交通費	52,830	48,000	スタッフ交通費 のべ101人分
消耗品費	35,180	35,000	印刷用紙、ガムテープ、洗剤、グリセリン、 マジック 計23172円 インク5358円、炭3036円、ロープ1534円、 着火剤2080円、
印刷製本費	9,310	9,310	パンフレット印刷7350円 チラシ印刷1960円
通信運搬費			
保険料	2,800	2,800	ボランティア保険 350円×8人
使用料及び賃借料			
合 計	550,120	455,110	

※ 領収書(原本)を添付してください。